

# 春日井市子ども読書活動推進計画 (第二次)

(中間案)

春日井市

## 目 次

<b>第1章 新しい計画の概要</b>	<b>1</b>
1 計画策定の趣旨と経緯	1
2 計画の対象	2
3 計画の期間	2
4 計画の性格	2
5 基本方針(目標)	2
基本目標1:家庭・地域・学校などにおける読書活動の推進	2
基本目標2:図書館などの読書環境の整備・充実	3
基本目標3:読書活動に関する理解と関心の普及	3
基本目標4:推進体制の整備	3
6 推進計画(第一次)実施期間中の主な取組と成果	4
<b>第2章 推進のための方策</b>	<b>8</b>
基本目標Ⅰ:家庭・地域・学校などにおける読書活動の推進	8
1 家庭における読書活動の推進	8
2 地域における読書活動の推進	10
3 幼稚園・保育園における読書活動の推進	13
4 学校における読書活動の推進	15
5 図書館における読書活動の推進	18
基本目標Ⅱ:図書館などの読書環境の整備・充実	20
6 図書館・図書室のサービスの充実	20
7 学校図書館の整備・充実	23
8 図書館間の連携・協力等の推進	25

基本目標Ⅲ:読書活動に関する理解と関心の普及	27
10 「子ども読書の日」「読書週間」などの啓発事業の充実	27
11 各種情報の収集・提供	28
12 優れた取組みや優良な図書への奨励	30
基本目標Ⅳ:推進体制の整備	32
13 推進体制の整備	32
施策体系	34

※ グラフ表示は、平成22年6月に実施したアンケート調査結果です。

## 第1章 新しい計画の概要

### 1 計画策定の趣旨と経緯

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、思いやりのある豊かな心を育むなど、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで欠くことのできないものです。また、生涯にわたって読書を生活の一部としていくためには、乳幼児期から年代に適した本と出会えるように、保護者等がその場面をつくっていく必要があります。

しかし、現在の社会は、テレビ・ビデオ・ゲームなどの映像文化の浸透、携帯電話やインターネット等の情報メディアの発達・普及などにより、子どもの生活環境も大きく変わっています。

こうしたなかで、国は、「子どもの読書活動」の推進のための取組を進めていくため、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を施行し、同法に基づき平成14年8月に「子どもの読書活動推進に関する基本的な計画」が策定されました。その後、平成20年3月には「子どもの読書活動推進に関する基本的な計画（第二次）」が策定されました。また、平成22年を「国民読書年」と位置づけ、国を挙げて読書活動推進の施策が展開されました。

愛知県においては、平成16年3月に平成16年度からおおむね5年間を計画期間とする「愛知県子ども読書活動推進計画」が策定され、平成21年9月には「愛知県子ども読書活動推進計画（第二次）」が策定しました。

春日井市では、「愛知県子ども読書活動推進計画」の内容を踏まえて、平成18年3月に「春日井市子ども読書活動推進計画」を策定し保育園・幼稚園・小中学校を中心に、家庭・地域等で様々な取組を展開してまいりましたが、5年の計画期間が経過することから、「春日井市子ども読書活動推進計画策定委員会」により検討を重ね、今後5年間の子どもの読書活動を推進していくための指針として、新たな取組や数値目標を加え「春日井市子ども読書活動推進計画（第二次）」を策定しました。

## 2 計画の対象

この計画の対象は、0歳から18歳までの子どもとします。なお、保護者や子どもの読書活動の推進に関わる団体なども対象とします。

## 3 計画の期間

平成23年度から平成27年度までのおおむね5年間とします。

## 4 計画の性格

- (1) この計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第2項の規定に基づき、国が策定した「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」と「愛知県子ども読書活動推進計画」の内容を踏まえて、子どもの読書活動推進に関する基本的な施策を示します。
- (2) 市民一人ひとりが、子どもの読書活動推進に取り組むことができるよう、家庭・地域・学校などの役割を示します。
- (3) ボランティア活動など市民の参加を促進する条件の整備や市民との協働の方向を示します。

## 5 基本方針(目標)

### 基本目標1： 家庭・地域・学校などにおける読書活動の推進

子どもが積極的に本にふれ合うようになるため、家庭・地域・学校などを通じ、社会全体で読書活動の推進に取り組むことが重要であり、子どもが読書に親しむ機会の拡充を図ることはもとより、子どもの読書活動に携わる学校・図書館・ボランティア等が緊密に連携し、相互に協力した取組を推進します。

## **基本目標2： 図書館などの読書環境の整備・充実**

子どもが自主的に本を読むようにするため、乳幼児期から読書の楽しさを  
知り本に親しむことができるように、図書館などの蔵書の整備やサービスの  
充実を図ります。

## **基本目標3： 読書活動に関する理解と関心の普及**

子どもが読書活動の大切さを感じるように、子どもの読書活動の意義や重  
要性について、市民に広く理解を求め関心を高めるよう普及・啓発事業を積  
極的に進めます。

## **基本目標4： 推進体制の整備**

子どもの読書活動に関する施策を総合的に推進するための体制の整備を進  
めます。

## 5 推進計画(第一次)実施期間中の主な取組と成果

### 基本目標:1 家庭・地域・学校などにおける読書活動の推進

#### 家庭における読書活動の推進

##### 主な取組

- 肌のぬくもりを感じながら言葉と心を通わすかけがえのないひと時を絵本を介して持つことを応援するため「ブックスタート事業」を平成18年度より健康管理センター・保健センターで実施。
- 家庭における読み聞かせの啓発のために「赤ちゃんのためのおはなし会」を平成19年度より実施。

写 真

##### 主な成果

○4ヶ月健康診査と合わせ、ボランティアによる絵本の読み聞かせ、お薦めの絵本を紹介した冊子を配布する「ブックスタート事業」を実施。

参加者数 3,205組(平成19年度実績)  
3,150組(平成20年度実績)  
3,098組(平成21年度実績)

○「赤ちゃんのためのおはなし会」を平成19年度より年間24回実施。

参加者数 1,782人(平成19年度実績)  
2,685人(平成20年度実績)  
2,110人(平成21年度実績)

#### ボランティア団体との協働の推進

##### 主な取組

- ボランティア団体の活動を通じ読書の必要性を啓発するために「紙芝居とお話しを聞く会」を実施。

写 真

##### 主な成果

○図書館本館始め11施設で年間230回実施。

参加者数 2,728人(平成19年度実績)  
2,957人(平成20年度実績)  
2,716人(平成21年度実績)

## 幼稚園・保育園などにおける読書活動の推進

### 主な取組

- 図書館が所蔵する絵本などを貸出し、園児の読書習慣の向上を図るために、「幼稚園・保育園の特別団体貸出」を実施。
- 日常的に絵本と触れ合う機会をすることにより、絵本に興味を持たせ創造力豊かな情緒の安定した子どもを育てるため各保育園で「絵本・紙芝居の読み聞かせ」を実施。

### 主な成果

- 絵本や紙芝居を1つのコンテナに入れ、毎月コンテナを交換する「保育園の特別団体貸出」を平成20年3月より、「幼稚園の特別団体貸出」を平成21年3月より実施し、園児の読書習慣の向上を図った。
- 「絵本・紙芝居の読み聞かせ」を全保育園（28園）にて、毎日給食前や降園前などの時間を利用して実施し、日常的に絵本と触れ合う機会を作り、絵本に興味や関心をもたせるようにした。

## 学校における読書活動の推進

### 主な取組

- 読書の楽しさや面白さを体感させ、読書への意欲付けをするため「朝読書」を実施。
- 読書のすすめを「郵便はがき」に文章と絵で表現することにより、読書意欲の喚起を図り、表現力を伸ばし、読書の和を広げるために「読書郵便コンテスト」を実施。

### 主な成果

- 始業前（毎日）や特定の曜日に市内小学校39校全校が、中学校は13校が実施。（平成19・20年度実績）
- 市内小学校18校、中学校3校が実施し、「読書郵便コンテスト」へ参加応募した。（平成19・20年度実績）



## 図書館における読書活動の推進

### 主な取組

- 本に親しむ機会をつくり読書の習慣化を図り、読書で得た感動を文章や絵画で表現することにより児童・生徒の読書力、表現力を養うため「読書感想文コンクール・読書感想画コンクール」の実施。
- 図書館の仕事を体験し、本の大切さや図書館利用のマナーを学び、本に親しむきっかけづくりをするため「一日子ども司書」講座の実施。

写 真

### 主な成果

- 「読書感想文コンクール」は市内小中学校 55 校全校が参加し実施。  
応募数 18,588 点（平成 19 年度実績）  
応募数 18,972 点（平成 20 年度実績）  
応募数 19,458 点（平成 21 年度実績）
- 「読書感想画コンクール」市内小中学校が参加し実施。  
応募数 14,424 点（平成 19 年度実績）  
応募数 14,388 点（平成 20 年度実績）  
応募数 14,333 点（平成 21 年度実績）
- 子どもの読書週間・秋の読書週間にあわせ年 2 回「一日子ども司書」を実施。  
毎回 24 人の定員を超える応募がある。

## 基本目標2： 図書館などの読書環境の整備・充実

### 図書館・図書室のサービスの充実

### 主な取組

- 来館することなく図書館資料を検索・予約することができる「インターネット予約システム」の実施。
- 図書館利用、行事等の案内、図書の検索・予約等最新情報の提供と利用者の利便性を図るため「図書館ホームページ」を開設。
- 「ベストリーダ、ベストリクエスト（児童図書）」「ヤングコーナー」で各年代層に合った本の紹介。

### 主な成果

- 「インターネット予約システム」による予約件数  
53,803 件（平成 19 年度実績）  
一日平均 147 件
- 57,340 件（平成 20 年度実績）  
一日平均 157 件
- 66,313 件（平成 21 年度実績）  
一日平均 182 件

### 基本目標3： 読書活動に関する理解と関心の普及・啓発

#### 読書活動に関する理解と関心の普及・啓発

##### 主な取組

●読書の楽しさを訴えることで、本を読むきっかけをつくるため「子ども読書の日」「読書週間」に合わせて子どもを対象に諸事業を実施。



##### 主な成果

○図書館探検・図書館クイズ・本のリサイクル会等の諸事業を実施。

「子ども読書週間」

参加者数 254人（平成19年度実績）

154人（平成20年度実績）

202人（平成21年度実績）

「読書週間」

参加者数 1,295人（平成19年度実績）

（内1,180人は本のリサイクル会）

1,202人（平成20年度実績）

（内1,110人は本のリサイクル会）

1,279人（平成21年度実績）

（内1,200人は本のリサイクル会）

## 第2章 推進のための方策

### 基本目標Ⅰ：家庭・地域・学校などにおける読書活動の推進

子どもが読書に親しむことができるよう、家庭・地域・学校・ボランティアなどと協働して読書活動を推進します。

#### 施策の方向

- 1 家庭における読書活動の推進
- 2 地域における読書活動の推進
- 3 幼稚園・保育園における読書活動の推進
- 4 学校における読書活動の推進
- 5 図書館における読書活動の推進

### 1 家庭における読書活動の推進

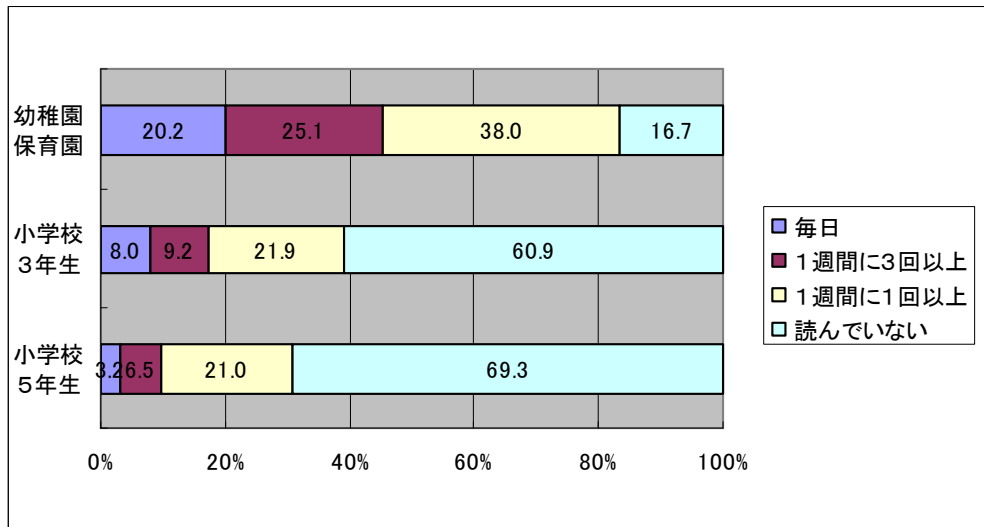
#### 現 状

子どもの読書習慣の確立には、保護者等が子どもに本の読み聞かせをしたり、子どもと一緒に本を読みながら会話をしたりするなど、保護者を始めとして、子どもを取り巻く大人の積極的な関わりが重要です。

一方で、テレビ、インターネットの普及や共働き家庭の増加などにより、家庭での会話が減り家族で本に親しむ機会が少なくなっています。

また、アンケートからも子どもの成長に本を読むことは、必要であると答えた幼稚園・保育園の保護者が98.3%に対し、子どもに本を読んでいると答えた保護者は、83.3%で、小学生では家族に読んでもらったり、一緒に本を読んでいると答えた子どもは小学校3年生では39.1%、小学校5年生では30.7%という結果になっています。

Q あなたは家で家族に本を読んでもらったり、一緒に本を読んだりすることはありますか



## 課 題

子どもの読書習慣の定着に向けて、乳幼児期から絵本に親しむなど家庭における読み聞かせや読書の大切さ・意義について保護者等の理解を促進する必要があります。

## め ざ す 目 標 値

	現在の状況	5年後の目標値
家庭での「読み聞かせ」の実施率 (幼稚園・保育園)	83.3%	90%
家庭での「読み聞かせ」の実施率 (小学校)	34.9%	40%

## 取 組

### (1) 本に親しむ家庭環境の大切さを伝えるブックスタートなどの事業の 実施

乳幼児期は読書活動の入り口にあたる重要な時期であり、赤ちゃんと保護者等が絵本を通して触れ合う「ブックスタート」などを行い、乳幼

児期における読書活動を支援します。また、保護者等が絵本などの読み聞かせを行い、本に親しむ家庭環境が大切であることを啓発します。

#### (2) 親子のふれあい読書の推進

家族で本を囲んで語り合うなどして、親子のふれあい読書を推進します。

#### (3) 家庭読書の推進

保護者等を対象にした子育て支援センターを始めとした子育て支援講座で、家庭での読書の大切さについて推進します。

#### (4) 図書館の利用促進

多くの本に触れることができるよう家族で図書館を利用することを促します。

### 今後5年間で取り組む具体的事業

取組番号	事業名	内容
(1)	ブックスタート事業	赤ちゃんと保護者を対象に、家庭での読書の大切さについて伝えながら、絵本等の入ったブックスタートパックを手渡す
(2)	赤ちゃんのためのお話し会	絵本の読み聞かせや親子のふれあい遊び、乳児向け絵本の紹介をする
(3)	ノーテレビ・ノーゲームデーの推進(新規)	ノーテレビ・ノーゲームデーの実践を通して家庭での読書の機会を増やすよう呼びかける
(3)	育児講座	未就園児とその保護者を対象に、絵本の読み聞かせや絵本の紹介・アドバイスを行う
(4)	家庭に向けた情報提供(新規)	図書館ホームページなどにより保護者に対して図書館等で行われている読み聞かせ会等の情報を提供する

## 2 地域における読書活動の推進

### 現 状

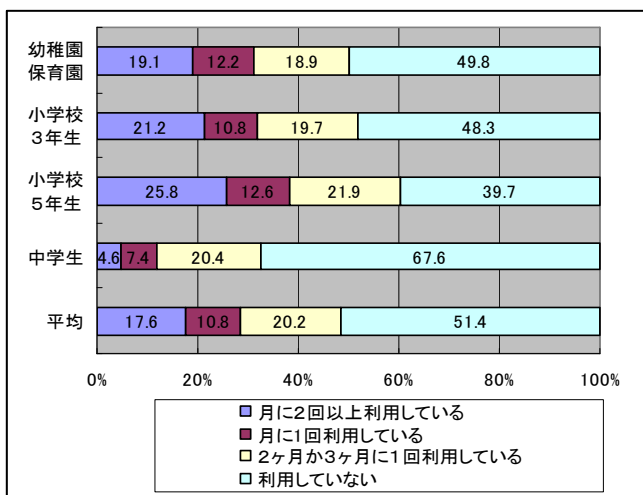
子どもの読書活動を推進するためには、身近なところで読書活動ができるふ

れあいセンターや公民館などの役割が重要です。地域での子どもの読書活動の推進にはボランティア団体が携わり成果をあげ、重要な役割を担っています。

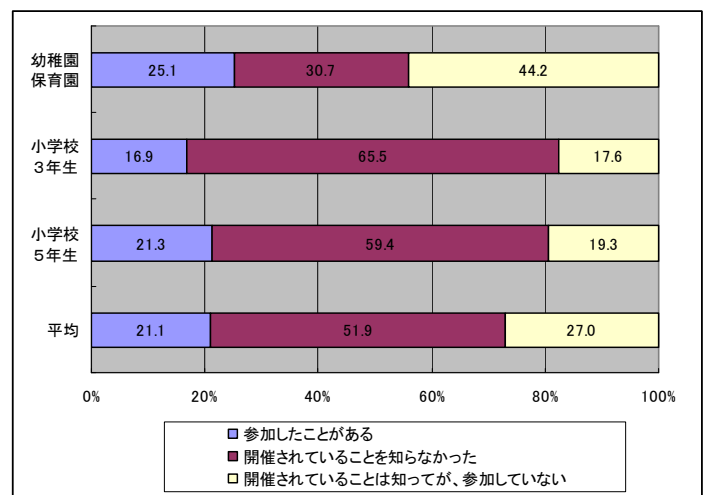
アンケートでは、図書館や図書室の利用者数についての回答は「利用していない」が、51.4%と半数以上となっています。

また、図書館や公民館の図書室での「紙芝居とお話しを聞く会」の参加者率は、「参加したことがない」が78.9%、そのうち「開催されていることを知らなかった」が51.9%となっています。

Q 図書館や公民館などの図書室をどの程度利用しますか



Q 図書館や公民館などで「紙芝居とお話しを聞く会」が開催されていますが、参加されたことがありますか



## 課題

ふれあいセンターや公民館などの親子利用を積極的に推進するために、子ども・保護者等を対象にした事業をふれあいセンターや公民館を利用して展開していく必要があります。

また、ボランティアの活動や運営について積極的に支援・協力をするとともに、これらの団体・関係施設と連携を深め、より一層読書活動を推進していく必要があります。

## めざす目標値

	現在の状況	5年後の目標値
紙芝居とお話を聞く会参加率	21.1%	30%
登録ボランティア団体数	13 団体	15 団体

## 取組

### (5) ボランティア団体の活動を通じ読書の必要性を啓発

ボランティア団体と連携して保護者等に読書の必要性を啓発します。

### (6) ボランティア団体の読書活動を充実

ボランティア団体が、学校・ふれあいセンター・公民館などで行う「本の読み聞かせ」などの読書活動の充実を図ります。

### (7) ボランティアの養成と団体の育成・活性化

ボランティアの養成のための研修を実施するなど、ボランティア団体と図書館やふれあいセンター・公民館などとの連携を深め、これら団体の育成・活性化に努めます。

### (8) 地域文庫や読書会への支援

ボランティア団体の活動が活発にできるよう、地域文庫や読書会などへの図書貸出サービスや活動しやすい環境づくりを支援します。

### (9) ボランティアの協力による地域の読書環境を充実

ボランティア団体の会員拡大や読書活動の推進事業を支援し、地域の読書環境の充実を図ります。

## 今後5年間で取り組む具体的事業

取組番号	事業名	内容
(5)	絵本・紙芝居の読み聞かせ	ふれあいセンター、公民館や子育て支援センターなどで絵本や紙芝居の読み聞かせや絵本のアドバイスを行う

取組番号	事業名	内容
(6)	紙芝居とお話を聞く会	幼児・小学校（低・高学年）の子どもを対象に、絵本や紙芝居の読み聞かせや手遊びを行う
(7)	読み聞かせボランティアの研修	読み聞かせボランティアを対象に、読み聞かせに適した絵本の把握や読み聞かせの技術向上のための研修を行う
(7)	読み聞かせボランティア養成の研修（新規）	読み聞かせボランティアの養成のための研修を行う
(7)	子どもボランティア養成の研修（新規）	読み聞かせボランティアの養成のための研修を行う（子ども対象）
(8)	団体貸出	読書会や貸出文庫（地域文庫）などに、まとまった冊数の図書を貸出す
(9)	ふれあい教育セミナー	幼稚園・小学校・中学校のふれあい教育セミナーが、各園・学校の児童・生徒・保護者を対象に地域の特性にあった講座を企画し、事業を行う

### 3 幼稚園・保育園における読書活動の推進

#### 現 状

乳幼児のときから絵本などに触れることや読み聞かせをしてもらうことは、ことばを覚え、表現力を高め、想像力を豊かにするなど、心の成長に重要なものです。

幼稚園や保育園では、図書コーナーに本をそろえ、毎日給食の前後や降園前などの時間を利用して、読み聞かせや読書の時間を設けています。また、「幼稚園・保育園の特別団体貸出事業」の絵本や紙芝居を利用して、読み聞かせや子どもが自然に本に触れ合う機会づくりをしています。

#### 課 題

豊かな感性をはぐくむ乳幼児期にこそ、絵本や物語等に親しむ体験が必要であり、その重要性を保護者等に伝え、読書に取り組みやすい環境を充実していくことが必要です。



## めざす目標値

	現在の状況	5年後の目標値
特別団体貸出利用率	74.2% (46園)	80% (50園)

※ 市内園数 幼稚園 23園、保育園 29園、私立保育園 10園

## 取組

### (10) 本に親しみやすい読書環境の整備

図書コーナーを充実し、本に親しみやすい読書環境づくりに努めます。

### (11) 職員などの協力体制と読書指導技能の向上

読書指導者研修を実施し、職員やボランティアなどの協力体制の充実と読書指導技能の向上を図ります。

### (12) 保護者等に読書活動の意識啓発

保護者等に「子ども読書の日」、「読書週間」などに関する情報を提供するとともに、ブックリストや読書に関するリーフレットなどを作成し子どもの読書活動の意識の啓発に努めます。

## 今後5年間で取り組む具体的事業

取組番号	事業名	内容
(10)	保育園の特別団体貸出	コンテナボックス1箱に入る絵本と紙芝居を1園分として、月1回サイクルで交換し、保育園での読み聞かせなどに活用する 遊びの時間に自由に絵本を手にとって見たり読んだりする
(10)	幼稚園の特別団体貸出	コンテナボックス1箱に入る絵本と紙芝居と大型絵本を1園分として、月1回サイクルで交換し、幼稚園での読み聞かせなどに活用する 遊びの時間に自由に絵本を手にとって見たり読んだりする
(10)	絵本・紙芝居の読み聞かせ	毎日、給食前後や降園前などの時間を利用して、絵本や紙芝居の読み聞かせを行う。遊びの時間に自由に絵本を手にとって見たり読んだりする

取組番号	事業名	内容
(11)	読書指導技能の向上 (新規)	読み聞かせボランティアの研修に参加するように、幼稚園・保育園に呼びかける
(12)	幼稚園・保育園児及び保護者等に向けた情報提供 (新規)	図書館で行う行事や図書情報を保護者等に提供する

## 4 学校における読書活動の推進

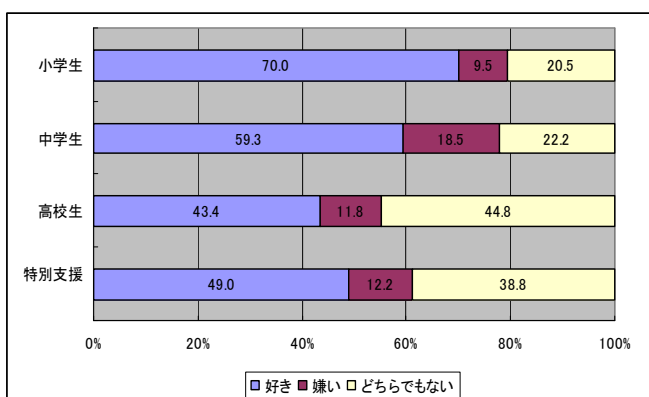
### 現 状

学校では、国語の授業で文学作品に触れるなど様々な形で読書に関する学習が行われています。また、学校内での「朝読書」、「読書週間」への参加や図書館の行う「読書感想文コンクール」などへの参加により、読書活動の推進を図っています。

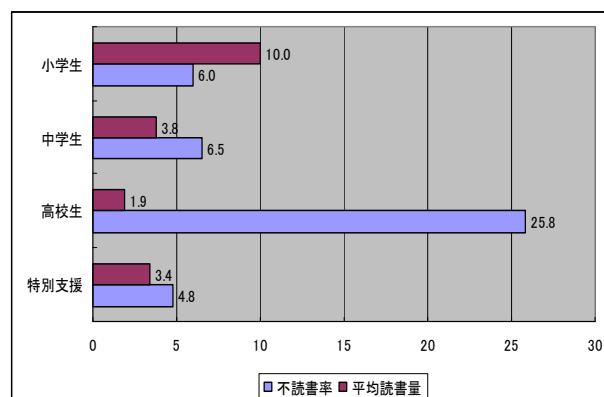
アンケートによると小学生では7割が本を読むことが「好き」となっているものが、中学生では6割弱、高校生では4割強と成長するにしたがい、割合が減っています。

また、本を読まないいわゆる「不読者」が小中学生は6%強であるが、高校生になると、4人に1人が「不読者」であり、成長するにしたがい増加が著しくなっています。理由としては、小学生では「読みたい本がない」、「テレビやゲームが気になる」という回答が多くあり、中学・高校生では「部活が忙しく読む時間がない」、「テレビが気になる」という回答が多くありました。

Q あなたは本（漫画、雑誌は除く）を読むのが好きですか



Q あなたは5月中に何冊本を読みましたか



## 課 題

小・中・高等学校及び特別支援学校の各学校の実情に応じて、子どもが本に親しむ態度を育成し読書習慣を形成するとともに、各学校の状況に応じて様々な工夫をするなどして、子どもの主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させることが必要です。

## めざす目標値

	現在の状況	5年後の目標値
全校一斉の朝読書実施率 (小学生)	100%	100%
全校一斉の朝読書実施率 (中学生)	86.7%	100%
全校一斉の朝読書実施率 (高校生)	33.3%	40%
全校一斉の朝読書実施率 (特別支援)	50.0%	100%
読書推進活動の取組実施率 (小学生)	94.9%	100%
読書推進活動の取組実施率 (中学生)	13.3%	20%
読書推進活動の取組実施率 (高校生)	40.0%	60%
読書推進活動の取組実施率 (特別支援)	50.0%	100%

## 取 組

### (13) 様々な取り組みを通し読書習慣の確立

「朝読書」、「読書週間」、「子ども読書の日」など様々な取り組みにより、読書習慣を身に付けるよう指導します。

### (14) 子どもが自主的に本と向き合うよう読書指導の充実

読み聞かせやブックトークなど子どもが読書に興味を持つ機会を提供し、自主的に本と向き合うことができるよう指導します。

#### (15) 学校図書館利用の促進

総合的な学習の時間や調べ学習などで、学校図書館で学んだり調べたりすることで、学校図書館の利用促進を図ります。

#### (16) 子どもが自主的に多くの本を読むよう奨励

子どもが自主的に読む本の目標冊数を決め、より多くの本を読むことができるよう奨励します。

#### (17) 学校図書館だよりなどで家庭との連携・協力を促進

「学校図書館だより」などにより、学校での読書活動を家庭に伝え連携・協力を進めます。

#### (18) 高等学校及び特別支援学校における読書活動の推進

小中学校で養った読書習慣を、高等学校においてより一層確かなものとするために、高校生の読書力の増進に向けた取組や、読書環境の整備などの連携に努めます。

### 今後5年間で取り組む具体的事業

取組番号	事業名	内容
(13)	読書郵便コンテストへの応募	本を読んだ感動をもとに、読書のすすめを「郵便はがき」に文書と絵で書き、家族や友達、下級生などに宛てて送る
(13)	全校一斉の朝読書	始業前に毎日全校一斉読書を行ったり、1学期に1回程度読書週間を設けて読書を行う
(13)	読書週間事業	読書週間中に「読み聞かせ」「読書まつり」「図書まつり」「読書集会」等を行う
(14)	読書活動推進事業の支援	ボランティアの協力により「読み聞かせ」や「ブックトーク」を行う
(15)	学校図書館運営の支援	P T Aボランティア等の協力により、図書の貸出・返却業務や配架、本の修繕を行う
(15)	調べ学習用図書の活用(新規)	図書館所蔵の調べ学習用図書を利用し、各学校で調べ学習を行う
(16)	目指せ〇〇冊運動(新規)	子どもが自主的に読む本の目標冊数を決め、より多くの本を読むことができるよう奨励します
(17)	必読書、推薦図書の選定	必読書、推薦図書の選定を行い「学校図書館だより」などにより、紹介する
(18)	高校生に向けた情報の提供(新規)	学校図書館司書と連携した「ヤング通信」で高校生のお薦め本を紹介する

## 5 図書館における読書活動の推進

### 現 状

図書館は、乳幼児期の子どもがいる家族や小・中・高等学校及び特別支援学校生が気軽に利用できるよう「子ども読書の日」や「読書週間」にあわせて「一日子ども司書」、「図書館探検」などを開催するほか、「小中学校読書感想文コンクール」、「読書感想文書き方教室」などの啓発事業を実施しています。また、図書館に訪れた子どもが自由に本が読めるような、児童コーナーや読み聞かせができる場所を設けて、定期的にボランティアの協力をえて「紙芝居とお話を聞く会」などを行っています。

### 課 題

子どもが図書館を利用し、読書に親しめるよう、乳幼児期から家族で読書の楽しさに出会える機会を拡充するとともに、図書館を利用していない子どもや保護者等に対して図書館の情報を発信していく必要があります。また、読書活動を推進していくうえでは、ボランティア団体と連携していく必要があります。

### め ざ す 目 標 値

	現在の状況	5年後の目標値
読書感想文コンクール参加率 (小学校)	72.1%	80%
読書感想文コンクール参加率 (中学校)	67.9%	70%
読書感想画コンクール参加率 (小学校)	75.5%	80%
読書感想画コンクール参加率 (中学校)	0.7%	10%

## 取 組

### (19) 図書館の魅力が発見できる事業の充実

「子ども読書の日」や「読書週間」にあわせた「一日子ども司書」などの事業や体験学習の参加などを通じた、図書館の魅力が発見できる事業を充実します。

### (20) 読書に対する奨励

読書に対する理解と関心を深めるため、優れた作品に対して表彰を行い、その取り組みの奨励を図ります。

### (21) 図書館がより身近な存在となる事業を充実

図書館のしくみや本の探し方などを学び、図書館がより身近な存在となるような事業を充実します。

### (22) ボランティア団体などとの協働

図書館の運営、事業の企画の段階から市民意見を取り入れるため、地域文庫やボランティア団体との連携の強化を図ります。

## 今後5年間で取り組む具体的事業

取組番号	事業名	内 容
(19)	一日子ども司書	図書館資料の貸出・返却業務及び本のカバーかけ作業の体験をする
(19)	職場体験学習の受け入れ(拡充)	中高及び特別支援学校生の職場体験学習の受け入れる
(19)	スカイフォーラムお話し会(新規)	季節に合ったお話し会をスカイフォーラムで行う
(20)	小中学校読書感想文コンクール	小中学校の児童・生徒を対象に読書感想文を募集し、優秀作品に対して表彰をする
(20)	小中学校読書感想画コンクール	小中学校の児童・生徒を対象に読書感想画を募集し、優秀作品に対して表彰をする
(20)	読書感想文書き方教室	読書感想文の書き方、まとめ方を学ぶ
(21)	図書館見学	小学校3年生の総合学習の一環として、図書館の見学を受け入れる
(22)	ボランティアとの連携(新規)	定期的に図書館事業の企画等について、ボランティア団体と情報交換を行う

## 基本目標Ⅱ：図書館などの読書環境の整備・充実

読書の楽しさを知り親しむことができるよう、図書館などの蔵書の整備やサービスの充実に努めます。

### 施策の方向

- 6 図書館・図書室のサービスの充実
- 7 学校図書館の整備・充実
- 8 図書館間の連携・協力等の推進

## 6 図書館・図書室のサービスの充実

### 現 状

図書館及び市内にある10図書室は、多くの図書館資料を備えて本に親しむ機会を提供するなど、読書活動推進の役割を担っています。

図書館の児童書コーナーでは、乳幼児期から小学生を対象とした児童書等の収集に努めており、貸出しやレファレンス、行事や展示などを通して子どもが読書の楽しさに触れる場を提供しています。

また、ヤングアダルトコーナーを設置し、中高生に対しより充実した図書館サービスの提供をしています。

なお、ホームページやインターネットなどを利用した資料の検索や貸出し予約のできるシステムの稼働により、図書館サービスの向上を図っています。

### 課 題

子どもや保護者が読書活動に関心を持ち楽しく本に親しむことができるよう、図書館資料の整備を行う必要があります。

また、障がいのある子どもの図書館資料の充実や国際化に対応できるよう外国語資料の収集などに努めていくことが必要です。

その他、図書を取り巻くIT化には著しいものがあり、電子図書館化などに向けた研究が必要です。

## めざす目標値

	現在の状況	5年後の目標値
子どもの図書館利用率 (～12歳)	20.5%	30%
子どもの図書館利用率 (13歳～15歳)	17.9%	30%
子どもの図書館利用率 (16歳～18歳)	11.0%	20%

## 取組

### (23) 図書の充実と利用の促進

子どもの年齢に応じた図書館資料の充実に努めるとともに、ホームページなどを利用した図書館資料の検索や貸出し予約など、電子的なサービスによる利用の促進を図ります。

### (24) 楽しく読書し専念できる環境の整備

子どもが楽しく読書に専念できる環境の整備に努めます。

### (25) 子どもが気軽に利用できるレファレンスサービスの充実

総合的な学習などを行う調べ学習の場として、子どもが気軽に相談や学習ができるようレファレンスサービスの充実に努めます。

### (26) 事業の開催、新着本の紹介などの情報提供の充実

事業の実施、新着本の紹介など子どもや保護者等に分かりやすい情報の提供に努めます。

### (27) ヤングアダルトサービスの充実

子どもから大人への転換期である中高生を対象とするヤングアダルトサービスを充実します。



(28) 障がいのある子どもを対象にしたサービスの充実

子どもが楽しむことのできる点字付き絵本や録音図書等資料の整備に努め、障がいのある子どもの読書活動を支援していきます。また、所蔵情報や利用案内のホームページ掲載等によるPRに努め、利用促進を図ります。

(29) 外国語資料等の収集、整理と情報提供

国際化に対応できるよう、子ども向けの外国語資料の収集や情報提供ができるよう努めます。

**今後5年間で取り組む具体的事業**

取組番号	事業名	内容
(23)	ベストリーダー・ベストオーダー	利用回数や予約回数の多い児童書ベスト30を図書館ホームページに掲載する
(23)	年代別ブックリストの作成・PR (新規)	各年代別の新着本やおすすめ本のリストを作成し、図書館ホームページに掲載する
(23)	インターネット予約	図書館ホームページにより、来館することなく図書館資料が予約できる
(23)	テーマ図書の紹介	年4回テーマを決め、テーマにそった本を展示し紹介する
(23)	電子図書館化 (新規)	先進的に取り組む図書館の動向等に注視し研究を進める
(24)	夏休みの開館	図書館利用者の多くなる夏休み期間中、休館日の月曜日を開館する
(25)	調べ学習の支援	調べ学習に訪れた子どもからの問い合わせに対し、自主的な学習が行えるよう支援を行います
(26)	図書館ホームページ	図書館ホームページの「こどもページ」で資料検索やおすすめ本の紹介、行事案内を行う
(27)	ヤングコーナー	3階実用書コーナーに中高生のニーズにあった児童書、一般書から資料を選び「ヤングコーナー」に配架する
(27)	ヤング通信の発行	年6回発行する「ヤング通信」で中高生におすすめ本の紹介をする
(28)	音訳技術講習会	録音図書を作成するための知識・技術及びその工程を学ぶ
(28)	音訳デジタル録音講習会	デージー図書を作成するための知識・技術及びその工程を学ぶ
(28)	障がい児向けの図書の提供 (新規)	障がい児向けの録音図書や点字図書を作成し、貸出を行う
(29)	外国語資料の収集 (新規)	子ども向けの外国語資料の収集を行い、貸出を行う

## 7 学校図書館の整備・充実

### 現 状

学校図書館は、子どもの自由な読書活動や学習情報収集の場として、学校教育の重要な役割を担っています。

しかし、アンケートによると学年が上がるごとに学校図書館の利用率は低くなり、高校生では学校図書館を1ヶ月間に利用した回数が0回と答えた生徒は89.3%にも上ることがわかりました。

また、学校図書館に望むこととして、「もっといろいろな本を置いて欲しい」と答えた生徒が半数以上いることがわかりました。

Qあなたは5月中に学校の図書館で何冊本をかりましたか

	0冊	1～3冊	4～6冊	7～11冊	11冊以上
小学校3年生	7.1%	43.5%	29.8%	9.8%	9.8%
小学校5年生	22.9%	39.7%	17.4%	11.9%	8.1%
中学生	90.8%	8.3%	0.9%	0%	0%
高校生	89.3%	8.5%	1.4%	0.4%	0.4%
特別支援	58.1%	35.5%	2.4%	3.0%	1.0%

### 課 題

子どもが求める図書館資料について計画的に整備していくことや、図書館と連携した「特別団体貸出」の活用について検討することが必要です。

また、学校における読書活動の推進には、司書教諭を中心とした教師の連携と学校図書館ボランティアとの協働が必要です。

## 取 組

### (30) 読書を楽しめる学校図書館として読書環境づくりの推進

子どもが、くつろげる自由な雰囲気の中で読書を楽しむことができる学校図書館として、学校図書館ボランティアと連携した読書環境づくりの充実に努めます。

### (31) 計画的な図書整備

全ての学校図書館の目標冊数を超える図書を配置し、充足率を100%とするため、計画的に図書の整備を進めます。

### (32) 学校図書館の相互貸借システムの検討

図書目録などのデータベース化を進め、学校間での図書資料の共有化や相互に貸出しができるシステムを検討をします。

### (33) 学校図書館の有効活用の支援の検討

学校図書館を有効活用するために、学校図書館ボランティア活動の支援を検討します。

### (34) 司書教諭などの支援

資料の収集・提供や読書活動に協力をする図書館司書を派遣し、司書教諭との協力について検討します。

## 今後5年間で取り組む具体的事業

取組番号	事業名	内 容
(30)	特別団体貸出(新規)	図書館と連携した「特別団体貸出」について検討する
(30)	読書環境づくり(新規)	子ども・PTA・教諭が連携協力した読書環境づくりを推進する
(31)	学校図書館整備事業	すべての学校図書館の目標冊数を超える図書を配置し、充足率を100%とするため、計画的に図書の整備に努めます
(32)	相互貸借システム(新規)	学校間で図書資料の共有化や相互に貸出しができるシステムを検討する
(33)	学校図書館の有効活用(新規)	読書活動ができるような環境づくりを目指して、学校図書館ボランティア等の協力を得ながら、各学校や地域の実情に応じて、学校図書館の有効活用を推進する

取組番号	事業名	内容
(34)	学校図書館への図書館司書の出前（新規）	学校図書館へ図書館司書が出向き、司書教諭と協力して「ブックトーク」を行う

## 8 図書館間の連携・協力等の推進

### 現 状

図書館では、図書館資料を各図書室で活用できるよう情報を提供しています。また、親しまれる図書館となるよう図書室間の連携を図り、身近な利用しやすい施設となるよう努めています。

### 課 題

図書館・図書室と学校図書館との情報交換と協力体制を充実し、読書活動を促進する効率的な連携体制を推進することが必要です。

### 取 組

#### (35) 図書館と学校図書館の連携を深め読書活動を支援

図書館と学校図書館との連携により優良図書の選定などを行うとともに、図書館職員との情報交換会や学校図書館への訪問による協力、市図書館が所有する図書の貸出しなどにより読書活動を支援します。また、子どもの調べ学習や総合的な学習の時間などで公共図書館の活用を進めるとともに、協力貸出しなどにより学校図書館では整備できない図書館資料の提供に努めます。

#### (36) 図書館と図書室間の情報交換

図書館と図書室間の情報交換を行い、所蔵本の貸出・返却の利便性の向上を図るため配送システムの充実を図ります。

### 今後5年間で取り組む具体的事業

取組番号	事業名	内容
(35)	学校図書館への図書館司書の出前（再掲）	学校図書館へ図書館司書が出向き、司書教諭と協力して「ブックトーク」を行う
(35)	調べ学習用図書 of 学校への貸出（新規）	図書館所蔵の調べ学習用図書を学校図書館へ貸出し、学校で調べ学習を行う
(35)	図書館と高校との連携（新規）	高校生ボランティアによるヤングアダルトサービスへの参画
(35)	リサイクル本の活用（新規）	図書館で除籍になった本を希望する学校図書館で有効利用を図る
(36)	図書室巡回	身近な図書室で図書等の貸出・返却ができるよう毎週火・木・土曜日に図書館と図書室を巡回し、図書等の搬送をする
(36)	図書館と図書室間の情報交換	定期的に各図書室と情報を交換する

## 基本目標Ⅲ：読書活動に関する理解と関心の普及

読書活動の推進を図るため、子どもの読書に対する理解と関心を高めるための啓発事業を実施し普及に努めます。

### 施策の方向

- 10 「子ども読書の日」「読書週間」などの啓発事業の充実
- 11 各種情報の収集・提供
- 12 優れた取り組みの奨励、優良な図書 の普及

## 10 「子ども読書の日」「読書週間」などの啓発事業の充実

### 現 状

図書館では、4月23日の「子ども読書の日」や秋の「読書週間」に合わせた読書啓発事業として、「一日子ども司書」、「図書館探検」など各種事業を実施しています。

### 課 題

子どもの読書活動についての関心と理解を深め、子どもの積極的な読書活動に対する意欲を高めるため、家庭・地域・学校・ボランティアが連携して啓発事業を進めていくことが必要です。

## めざす目標値

	現在の状況	5年後の目標値
子ども読書週間事業参加者数	202人	300人
読書週間参加者数	1,279人(内1,200人はリサイクル会参加者数)	1,500人

## 取組

### (37) 読書活動推進事業を家庭、地域、学校、ボランティアと連携した読書活動の推進

「子ども読書の日」、「読書週間」、「夏休み」などの機会を通して家庭・地域・学校・ボランティアと連携して各種読書活動を推進します。

## 今後5年間で取り組む具体的事業

取組番号	事業名	内容
(37)	子どもの読書週間	4月23日の「子ども読書の日」を中心に4月23日から5月12日までの期間に子どもを対象の事業を行う
(37)	読書週間	10月27日から11月10日までの「読書週間」の期間に子どもを対象の諸事業を行う
(37)	スカイフォーラムお話し会(再掲)	季節に合ったお話し会をスカイフォーラムで行う

## 11 各種情報の収集・提供

### 現 状

図書館・図書室や学校図書館では、それぞれが利用者のニーズにあった図書の購入、事業の企画、情報の提供などを行っています。

また、図書館ではホームページなどで利用方法や事業のお知らせを行う他、

インターネットで図書の検索や図書の予約を行っています。

## 課 題

読書活動を推進するためには、要望に応じた図書の整備や読書啓発事業の企画を行うとともに、関連した情報を収集し提供することが必要です。

## 取 組

### (38) 司書などの人材確保と適切な配置

子どもの読書相談に応えるために、適切な情報の収集と提供を行うことができる司書などの適切な配置に努めます。

### (39) 情報提供及び利便性の向上

ブックリストの配布、図書館ホームページを活用した推薦図書リストやイベント情報の提供、及び利用者の立場にたった図書館システムの構築に努めます。

## 今後5年間で取り組む具体的事業

取組番号	事業名	内 容
(39)	図書のレファレンス	図書館資料についての問い合わせに対し、適切な支援を行う
(40)	ベストリーダー・ベストオーダー（再掲）	利用回数や予約回数の多い児童書ベスト 30 を図書館ホームページに掲載する
(40)	ヤングコーナー（再掲）	3 階実用書コーナーに中高生のニーズにあった児童書、一般書から資料を選び「ヤングコーナー」に配架する
(40)	インターネット予約（再掲）	図書館ホームページにより、来館することなく図書館資料を予約できる
(40)	図書館ホームページ（再掲）	図書館ホームページの「こどもページ」で資料検索やおすすめ本の紹介、行事案内を行う
(40)	年代別ブックリストの作成・PR（新規）（再掲）	各年代別の新着本やおすすめ本のリストを作成し、図書館ホームページに掲載する
(40)	テーマ図書の紹介（再掲）	年 4 回テーマを決め、テーマにそった本を展示し紹介する



取組番号	事業名	内容
(40)	ヤング通信の発行（再掲）	年6回発行する「ヤング通信」で中高生におすすめ本の紹介をする
(40)	メールマガジンの配信（新規）	月1回新刊案内や行事案内など読書に関する最新情報の配信を行う

## 12 優れた取り組みや優良な図書の奨励

### 現 状

本や図書館に興味をもってもらうため「図書館だより」を発行したり、「ヤングコーナー」や「ヤング通信」、「ベストリーダー・ベストオーダー」で各年代に沿った本の紹介をし、読書活動への理解と関心を深めています。

### 課 題

学校やボランティア団体などの活動の奨励や優良な図書の奨励をし、読書に関する理解と関心を高める必要があります。

### 取 組

#### (41) ボランティア団体などの活動を奨励し読書活動を推進

学校やボランティア団体などの活動を奨励することにより、ボランティア活動の活性化を図り、読書活動を推進します。

#### (42) 各年代に沿った推薦本の紹介

幼稚園・保育園・学校と連携して各年代にそった推薦本を紹介します。

### 今後5年間で取り組む具体的事業

取組 番号	事業名	内 容
(41)	<u>ボランティア団体の活動の奨励（新規）</u>	<u>学校で活動しているボランティア団体の活動を図書館だよりや図書館内の掲示板で紹介する。</u>
(42)	ベストリーダー・ベストオーダー（再掲）	利用回数や予約回数の多い児童書ベスト 30 を図書館ホームページに掲載する
(42)	ヤングコーナー（再掲）	3 階実用書コーナーに中高生のニーズにあった児童書、一般書から資料を選び「ヤングコーナー」に配架する
(42)	<u>年代別ブックリストの作成・PR（新規）（再掲）</u>	<u>各年代別の新着本やおすすめ本のリストを作成し、図書館ホームページに掲載する</u>
(42)	<u>ヤング通信（再掲）</u>	<u>年6回発行する「ヤング通信」で中高生におすすめ本の紹介をする</u>

## 基本目標Ⅳ：推進体制の整備

子どもの読書活動に関する施策を総合的に推進するための体制の整備を進めます。

### 施策の方向

#### 13 推進体制の整備

#### 13 推進体制の整備

##### 現 状

子どもの読書活動を推進するために、図書館、家庭、地域、学校などとボランティアが連携を図り、総合的に施策を推進しています。

##### 課 題

図書館、家庭、地域、学校などとボランティアが相互の連携・協力体制の強化を図り子どもの読書活動を推進していくことが必要です。

##### 取 組

###### (43) 読書活動に関する関係課やボランティアとの連携

読書活動事業に係る関係機関及びボランティアとの連携を深め、情報の共有化を深めます。

###### (44) 計画の進行管理

この計画の進行管理は図書館協議会で行います。

### 今後5年間で取り組む具体的事業

	事業名	内容
(43)	<u>ボランティアとの連携 (再掲)</u>	<u>定期的に図書館事業の企画等について、ボランティア団体と情報交換を行う</u>
(44)	推進計画の遂行	図書館、公民館、学校などで行っている事業内容を検証する
(44)	計画の進行管理	図書館協議会で計画の進行管理を行う

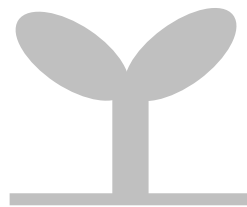
# 施策体系

## 基本目標

## 施策の方向

## 取組





春日井市子ども読書活動推進計画  
(第二次)

発行 平成23年4月  
春日井市・春日井市教育委員会図書館  
〒486-0844  
愛知県春日井市鳥居松町5丁目44番地  
電話 0568-85-6800  
<http://www.city.kasugai.lg.jp>